

手づくりのしめ縄（公民館しめ縄講座より）

新年のあいさつ

大いなる夢咲かせます

2・3

北浦村老人保健福祉計画

高齢者のために考えた地域づくりの計画

4・5・6・7

視察の充実度に大きな感銘

プファイル市長夫妻

8・9

北浦虹工房	北浦村弁当	10
むらの話題	商工会青年部30周年記念式典	11
生涯学習	ライフプランの描き方・立て方③	12
さわやか健康	予防接種法の改正	13
むらづくりは人づくり	きれいで住みよい村に 原 操さん	14
文芸きたうら	砂漠の塩 松本正義さん	15
おしらせ	葉たばこ作り仲間募集	16

国内生産者も厳しい年でもございました。このように内外ともに厳しいなかで、本村においては、懸案でありました「ふれあいの郷」施設も、昨秋、関係者の皆さまのご協力によりオープンを迎えることができ、現在、多方面に活用されているところがあります。

心の豊かさが求められる今、ふれあいと健康の向上・独自の文化の形成に大いに活用されることを望むものであります。

一方、近年の広域交通網の整備、メディアの発達が目ざましいものがあり「人・物・情報」がスピーディに往来する時代であります。

これらを的確に見据えて、二十一世紀を展望した魅力のある村づくりを進めることが、いま求められている大きな課題であると認識しております。幸い、経済の動向も極めて緩やかではありますが、回復の兆しが見えるようであります。

迎えた本年は、新生「北浦村」として誕生以来、四十年の節目の年でもあります。初心忘るることなく、住みよい村づくりのため「大いなる夢咲かせます」を合言葉に、なお一層がんばってまいりますので、みなさまのご支援ご協力をお願いいたしますとともに、村民のみなさまのご健勝を祈念いたしまして年頭のごあいさついたします。

村民の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんには、日頃から村政に対しご協力とご理解をいただき心から御礼申し上げます。

顧みますと、一昨年は例年になく天候不順から米不足、一部輸入に頼るなど社会問題ともなりましたが、昨年は水不足に悩まされながらも平年以上の作となり、一応平穏を取り戻した感じがいたします。

しかし、社会の情勢は、目を外に向けて見ますとヨーロッパやアフリカには依然として地域紛争が続いており、我が国もその支援等に多大の協力を求められた年でもありました。

国内的にはバブル景気はじけ、景気の低迷が長い間続きました。また、安い生鮮物の輸入増大等により



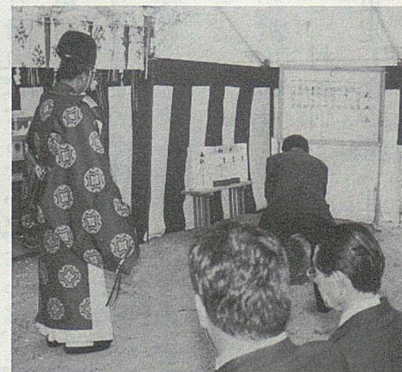
村 長
磯 山 伸 知



第10回をかぞえた村民スポーツ大会運動会。新しいグラウンドでみんなおはりきり。



敷地取得から6年の歳月を経て文化・スポーツの拠点『ふれあいの郷』がオープンしました。



今年5月のオープンを目指して玉造町手賀地内に火葬場の建設が始まりました。写真は地鎮祭。



足掛け12年にわたった土地改良事業の着土地改良区が設立さ



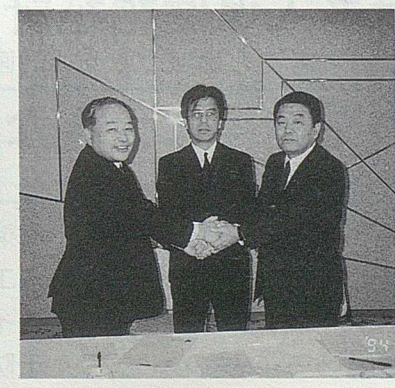
推進してき工に向け要れた。



北浦国際交流協会の招きによりドイツ連邦共和国連合行政体ウィルゲス市長ブファイル夫妻来村。



ふれあいの郷オープン。併せて魅力の村づくり計画による北浦村のシンボルマークを発表



複合団地本格スタート。村、県、県開発公社と三者協定書に調印。用地買収始まる。

一九九四年をふりかえる

北浦村老人保健福祉計画



寝たきり老人を介護するホームヘルパー

高齢者のために考えた 地域づくりの計画です

我が国は、いまや平均寿命八十年という世界最長寿国になり、二十一世紀には四人に一人がお年寄りという超高齢社会に到達しようとしています。北浦村においては六十五歳以上の人口は平成六年七月現在で二千二百二十八人、率にして十九・五パーセント。これが、平成十二年には二千四百十三人、二十六・八パーセントになると推計されます。北浦村でも着実に高齢化が進んでいます。

人生八十年という長い年月を暮らしていかなければならない私たちは、予想される超高齢の社会構造になったとき、どのような生き方をすればよいのでしょうか。保健・医療・福祉をはじめ生きがい対策など、考えておかねばならないことが沢山あります。

そこで、村は何をしなければならぬのかを策定したのが『北浦村老人保健福祉計画』です。

超高齢社会に対応する計画

計画策定の趣旨

二十一世紀初頭には、四人に一人が高齢者という超高齢社会が到来すると、北浦村においてもねたきりや痴呆性の要介護老人の増加が見込まれます。加えて核家族化の進展や女性の職場進出、家庭環境、扶養意識の変化などから家庭における介護力はますます低下していくことが予想されます。

このような状況の中で、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域の中で、安心して暮らしていける体制の整備が重要な課題となっています。そこで、村では将来を見越した保健、医療、福祉の連携による総合的な高齢者対策を考え、高齢者のニーズと必要とされるサービス体制を計画的に推進する計画を策定しました。

平成十一年度を目標に

本計画は国において策定された「高齢者保健福祉推進十か条戦略」（ゴールドプラン）及び北浦村新総合計画を踏まえ、高齢者基礎調査におけるデータをもとに策定しました。



この計画は、平成十一年度を目標年度とする六か年計画ですが、毎年計画の進捗状況を把握し、社会情勢の変化等により見直しもあります。

高齢化率の推移

昭和四十五年に一万九百四十九人であった人口が、平成六年では一万一千百六十人であり、一・九％の伸び率で、ほぼ横ばいで推移しています。しかし、高齢化率をみると、六十五歳以上の人口は、昭和四十五年に九・〇％であったが、平成六年には一九・五％となり、年々増加しています。県平均と比べても、五・九％も上回っています。さらに平成十二年には四人に一人が高齢者となる見込みです。また、介護の必要性が高くなる七十五歳以上の人口も大幅に増える見込みです。

援護を必要とする老人の推計〔高齢者基礎調査より〕

〔判定基準〕			
	ランク	平成4年8月1日現在	平成11年度
ねたきり老人	C	18人 (0.9%)	27人
	B	21人 (1.0%)	31人
虚弱老人	A	1人 (0%)	1人
	J	15人 (0.7%)	21人
痴呆性老人 (要介護)		1人 (0%) (1人) (0%)	120人 (18人)
ひとり暮らし老人		34人 (1.7%)	45人
要注意者		92人 (4.6%)	107人
高齢者総数		2,009人	2,413人

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1 交通機関等を利用して外出する 2 隣近所へなら外出する
準ねたきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
ねたきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2 介助により車椅子に移乗する
	ランクC	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1 自力で寝返りをうつ 2 自力では寝返りも出来ない

※ねたきり老人及び虚弱老人のランクは、右の「ねたきり度判定基準」による。
() 内のパーセンテージは、高齢者総数との割合である。

現在行われているボランティア活動

団 体 名	事業名又は活動名	活 動 内 容
ボランティア 連絡協議会	各グループの連絡	各グループの代表で組織し、村社協事業への協力又グループ間の協力態勢の調整
「さわやか」 グループ	給食ボランティア	独り暮らしのお年寄り、高齢者世帯、障害者世帯等へ給食サービスを行い安否の確認をする。年間、配食22回、会食2回。
配 送 ボランティア		給食サービスのお弁当を配達し安否の確認をする。ボランティアに参加するお年寄りの送迎等。
電話訪問 ボランティア	電 話 訪 問	独り暮らしのお年寄りに電話でお話しをし、現在の困り事や生活状況を把握し社協へ報告する。 (安否確認)
婦人連絡協議会 交通安全母の会		共同募金活動の協力 福祉バザーの開催 社協事業への協力
老人クラブ 連 合 会	友 愛 訪 問 活 動	地域の寝たきりのお年寄りや独居老人宅へ訪問しお話し相手や仲間作りを行う。
	清 掃 活 動	年2回、(9月12月)連合会事業として道路、神社等地域の人の集まる場所を清掃する。
在宅福祉 ボランティア	地域ケアシステム	地域の高齢者や障害者が安心して暮らせる地域作りのため、お話し相手や見守り活動、家族の状況把握を行い民生委員とのパイプ役を行う。



さかんになったベタンク大会

老人クラブ

教養の向上、健康増進、社会奉仕、レクリエーション、地域社会との交流を目的とした老人クラブの活動内容は、主に健康教育講座、老人健康食講座、クロッケー大会、ペタンク大会、友愛訪問、廃品回収、高齢者と子どものふれあい事業など様々な事業に積極的に取り組んでいます。

保健・医療・福祉の連携

高齢者の保健・医療・福祉関係施策の協議機関としては、昭和六十二年に設置された高齢者サービス調整チームや平成五年度を初年度とした地域ケアシステム事業があり、それぞれ関係機関を代表とする構成員によって運営されています。これらの組織における情報の共有化や相互の連携・協力を図

環境の整備と 生きがいづくり

ること、また、住民団体（ボランティア等）を構成員に加えるなどとして、適切な住民サービスのシステム構築を図っていかねばなりません。

また、北浦村保健対策推進協議会を活用して、高齢者の地域における生活の基本となる保健対策事業全般の改善等について、すべての関係機関と連携を図って推進していきます。

ボランティア活動を支援

今後ますます増大する高齢者のニーズに的確に応えるためには、社会福祉協議会を始めとして、各

北浦村老人保健福祉計画

老人福祉センター

現在、設置されている老人福祉センター休養ホーム『北浦荘』。今後は増設を含めた新しい老人福祉施設を検討していかなければなりません。

地域に適した 施設の整備

特別養護老人ホーム

平成十一年度における高齢者数の推移は、二千四百十三人であり、特別養護老人ホームの設置基準からみると、二十七床のベッド数が必要となります。

特別養護老人ホームは、保健福祉圏域における調整が必要とされている広域施設であり、当村が含まれる圏域（旭村・鉾田町・大洋村・玉造町・北浦村・小川町）については、必要ベッド数は概ね確保されている状況です。したがって、原則的には当村からの利用者は、圏域内の既存施設を利用することとなります。

しかし、今後将来にわたっての必要性を考慮した上で、村内にか所の新規整備を検討します。

■デイサービスセンター・ケアハウス等を併設

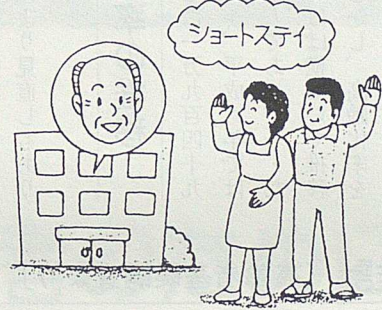
北浦村におけるデイサービスセンターの必要量を一か所と見込み、平成十一年度までに整備を図っていきます。整備形態としては、今

後村内への設置が期待される特別養護老人ホーム等への併設という形をとって運営していく計画です。

ケアハウス（軽費老人ホーム）についても、特別養護老人ホームへの併設として十五床の整備を検討します。

ショートステイ事業は、現在、北浦村外の特別養護老人ホーム六か所と養護老人ホーム一か所に委託して実施しています。

平成十一年度における専用ベッド必要量は十一床であります。村内に特別養護老人ホームを整備する際に施設内へ整備を検討します。



在宅介護支援センター

在宅のねたきり老人、ひとり暮らし老人等の介護をされているご家族の方々が、気軽に専門家に相

談でき、必要なサービスが受けられるよう調整を行う機関です。

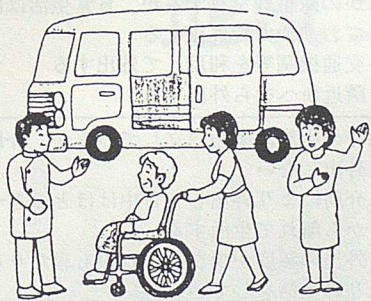
北浦村における人口から考慮して、設置目標数を一か所とし、平成十一年度までに整備を図っていきます。

その他施設の整備

老人保健施設については、保健福祉圏域内における調整が必要とされる広域施設なので、整備にあたっては、県との調整を図りながら施設の新設を検討します。

老人訪問看護ステーションについては、地元医師会等との協議を進めながら設置することを検討します。

保健センターは、平成十一年度までに設置をします。



種ボランティア団体等民間活動との連携が不可欠です。こうした地域を支える住民組織の活動は、今後ますます重要になってきます。

村としても住民組織の活動を積極的に支援、育成に努める必要があります。

生きがい対策

現在、元気である高齢者が、将来寝たきり老人にならないためには、保健、医療、福祉の充実を図ることはもちろんですが、地域における高齢者の生きがいづくりと健康づくり、社会参加対策が重要です。

これからの取組

高齢者の生きがい創造、健康づくり、生涯学習の充実のため、高齢者の生きがいと健康づくり推進モデル事業、高齢者生きがい促進総合事業等を積極的に取り組みます。

また、高齢者の就業については、シルバー人材センターの設置を検討し連携を図っていくほか、生きがいの場の確保や社会参加の機会を多くするようなシステム構築を行います。

村での高齢者対策事業

ホームヘルパー派遣事業・在宅老人短期及び中期保護事業・老人日常生活用具給付等事業（緊急通報機器含む）・火災速知器設置事業・給食サービス事業・愛の定期便事業・訪問入浴サービス事業・敬老祝賀事業・金婚祝賀事業・高齢者祝賀訪問事業・寝たきり老人等介護慰労金支給事業・ひとり暮らし老人慰問事業・在宅介護者研修事業・その他

ホームヘルプサービス

老衰や心身の障害、病気などにより、日常生活を送るのに困っているねたきり老人、ひとり暮らし老人（いずれも65歳以上）のいる家庭にホームヘルパーが訪問しお世話します。

業務の内容は①家事、食事の世話、衣類の洗濯、室内の掃除、買い物など。②食事介助、入浴介助などの介護。③生活や身上に関する相談、助言など。

ケアハウス

入所者の生活相談に応じたり、入浴、食事の提供や緊急時の対応を行います。入所者が介護を必要となった場合には、外部からホームヘルパーを派遣してもらうなど在宅福祉サービスの活用を図る施設。

デイサービスセンター

リフトバスなどを用いて在宅の虚弱・ねたきりのお年寄りをセンターまで送迎し、入浴などのサービスを提供し、お年寄りの孤独感の解消や心身機能の維持を図る施設。

老人ホーム

老人ホームには、特別養護老人ホームと養護老人ホームがあります。ねたきりなどで身の回りのことを自分で行えず、常時介護が必要で、しかも家庭でそれらができないお年寄り、または身寄りがなく、お世話する人のいないお年寄りなどを介護する施設です。

①特別養護老人ホームは、ねたきり、痴呆性老人で介護困難な方が入所対象。
②養護老人ホームは、収入が少なく、居宅において生活が困難な方が入所対象

視察の充実度に 大きな感銘

ドイツ連邦共和国連合行政体ヴィルゲス市長



ブファイル市長夫妻を北浦村へ招いた北浦国際交流協会のみなさんとブファイル市長夫妻

友好に強い絆

北浦国際交流協会の招きによりドイツ連邦共和国連合行政体ヴィルゲスよりブファイル市長夫妻が北浦村に訪れたのは、昨年の十月二十七日から六日間の短期間ではありましたが、かなり満足していたようです。北浦国際交流協会主催の送別会では、通常公式の席ではスピーチしないペトラ夫人からも挨拶をいただくことができました。

ブファイル市長は、感謝のスピーチにおいて、これまで幾度となく訪れた海外での滞在のなかで、北浦村での滞在が最も情報量が多く、実のあるものであったと述べられました。さらに、今回の滞在中でお世話になった村内のみなさんへの感謝の言葉に加えて、現在の北浦村が新たな発展へ向かって少しずつ動き始めていることを確認され、今後の北浦村の村づくりに向けて、助言と協力を惜しまないことを約束しました。

自然光を 取り込んで

北浦幼稚園



幼稚園の各教室を訪問

北浦幼稚園では、園児の遊戯による歓迎を受け、ご夫妻は思わず顔をほころばせていました。園長を囲んでの懇談会では、まだ数は少ないのですが、ドイツの幼稚園の実情に関する話を交えながら、一クラスの園児数や先生一人あたりの園児数、そして父兄の費用負担に関する話など、かなり具体的な内容にまで質問が行われました。施設に関してはまずその敷地の広さに驚かれたブファイル市長ですが、園児の目のことを考え、ドイツでは自然光を極力取り込んで人工の照明を利用しない方針になっています。

生徒の安全 を重視

北浦中学校

北浦中学校を訪問する前に、短時間でしたが給食センターの視察が行われました。義務教育の段階での学校給食は、まだ少ないドイツですが、労働環境の変化によりその必要性は高まる傾向にあり、ブファイル市長からは、全体的な経費、食材の調達方法、そして各家庭の負担額などについて、いかにも行政マンらしい質問をしていました。

北浦中学校では、いくつかの教室での授業参観に加えて、学校の施設全体から給食の状況、そしてクラブ活動までの視察が行われました。ブファイル市長は施設全体、そして特に体育館の老朽化が気になったようで、ドイツの例は極端だと前置きしながらも、ドイツでは施設や設備がここまで老朽化した場合、生徒の安全などを理由にPTAから教員組合までが、行政に対して施設および設備の改善を求めてくるだろうと感想を述べていました。また、生徒と一緒に教室で給食を取られた市長は、食事そのものは満足されたようですが、もう少し環境を考慮した食事のシステムを導入できるのではないかとコメントをしていました。

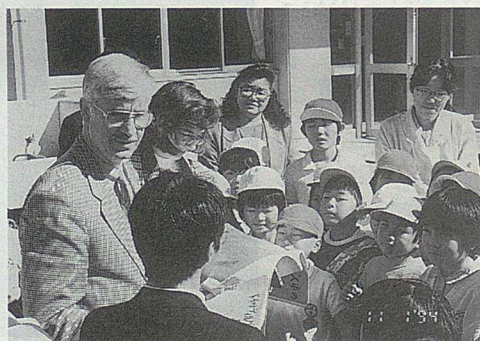


生徒たちと一緒に給食を試食

画集を プレゼント

津澄小学校

前日の北浦中学校に続いて、津澄小学校を視察しました。ここでの懇談会で特に話題になったのは、幼稚園や中学校にも当てはまることですが、一クラスの児童もしくは生徒数の問題でした。ブファイル市長は、いかにによりよい環境での教育を提供するかという課題が、現在の日本の四十人を境とする人数割りだと、単に運、不運の問題



生徒自作の画集をプレゼント

になってしまっているような印象を受けたようです。また、児童または生徒、学校、PTA、そして行政の日本的なあり方が、市長には釈然としなかったようです。しかし同年代のお嬢さんを二人お持ちのご夫妻にとっては、ひとつひとつ子供たちの歓迎は、プレゼントされた生徒自作の画集とともに何より嬉しいものだったようです。



商工会での懇談

後継者問題は

商 工 会

最後の視察先となった商工会では、商工会の基本的な機能と課題の説明の後、北浦村とドイツにおける主に自営業者の状況について

の懇談が行われました。その際、自営業者の後継者問題に話しが及ぶと、ドイツにおける後継者問題は、各事業主の問題として行政は直接タッチしないという説明がブファイル市長からあり、自由競争市場社会にたいする認識と対応に関して、ドイツと日本では大きなひらきがあることが確認されました。またこの席で、一九九一年の「ふれあいフェスティバル」での「ドイツ輸入品フェア」におけるブファイル市長の協力にたいして、猪瀬商工会長より改めて感謝の言葉が送られました。

今年も北浦国際交流協会ではヴィルゲス市への派遣団員を募集しています。詳しくは16ページのお知らせに掲載しております。

むらの話題



創立30周年式典盛大に 北浦村商工会青年部

商工会青年部（横田太郎部長）は、12月7日北浦村文化会館において、多数の来賓を迎え、加えて鹿行各町村商工会青年部員の参加を得て、設立30周年記念式典を挙行、団結を誓いました。

式典は、横田部長、猪瀬商工会長の挨拶に続いて、歴代部長（8人）に感謝状贈呈、記念事業目録贈呈、30年の経過報告を行い、第2部として、テレビなどで活躍しているダニエル・カールさんの記念講演が行われ、会場は終日和やかな雰囲気になりました。



親子ふれあいコンサート

12月10日に北浦村文化会館において「親子ふれあいコンサート」が開催されました。サブタイトルの『歌のお姉さんとプラス仲間の楽しく愉快なコンサート』と言うことで、アニメソングやディズニーメドレーなど普段から耳にしている曲をラッパに乗せて歌いました。お姉さんが楽しい話をしてくれ、観客も手拍子で歌に参加したりして、楽しいひとときを過ごしました。



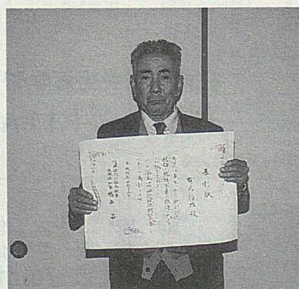
鹿行地域農業フォーラム

12月1日に北浦村文化会館において鹿行地方総合事務所主催による鹿行地域農業フォーラムが開催されました。NHK解説委員の加倉井弘さんを招いて、『農業の現状とその将来展望』と題して講演を頂き、午後からは7名のパネラーによるシンポジウムが行われました。北浦村からは、前田恵助さん（行戸）が『水耕農業に賭ける私の夢と挑戦』というテーマで出演しました。



正月は手製のしめ縄で

12月20日に中央公民館においてしめ縄づくり講座が開催されました。これは、公民館講座の一つとして行われているもので、今年も大勢の参加者がありました。講師に前島澄衛先生を招いて、宝船というしめ縄を作りました。初心者が多く、はじめは手こずっていましたが、見事全員立派なしめ縄を作ることができました。参加者はさっそく家に飾ろうと大喜びでした。成果品は表紙写真のとおりです。



有馬行雄さん



亀田信也さん

県統計大会で表彰

12月2日に行われた第36回茨城県統計大会において長年の統計調査員としての業績が認められ、有馬行雄さん（小貫）、亀田信也さん（行戸）がそれぞれ、茨城県統計協会総裁表彰になりました。

魅力の村づくり 北浦虹工房

② 北浦村弁当

虹工房連載の第一号である前回は北浦村に農村キャンプ場を、という話しをした。このキャンプ場の特徴の一つは「食」である。北浦村でとれる新鮮な食材を手に入れ、料理を楽しみながらキャンプができるということである。

ところで話は一転するが、北浦村では複合団地の計画が進められていると聞く。生産工場、研究所、流通拠点そして住居とまさに複合的に施設が集まる団地。広さは約二〇〇ヘクタール。ほかの地域の団地と比べると、けして広いほうではないといわれるが、二〇〇ヘクタールというのは東京ドームが優に四十以上入る面積である。造成にはどれだけの年月がかかるだろうか。そして造成や工事のためにどれくらいの人たちが集まってくるのだろうか。数字的には想像もつかないが、かなりの数であろう。ふれあいの郷施設

の建設現場の比ではないことは確かである。こうした人々のために村でこそつて弁当をつくってはいかがだろうか。これだけの大規模工事であるから当然のもののセンターはできるであろうが、企業が提供する定食には、安からうまずかろうの感じがどうもしてならない。もちろんこれは偏見であるが。

北浦村には新鮮な野菜や鶏卵、魚、肉類、そして食後は季節の果物と素材は十分過ぎるほど、ふんだんにある。なによりもおいしいのは、その年にとれた、しかもつきたての米を炊いたごはんである。これらを昼の弁当に仕立てるのである。食材の組み合わせ方は無限にあるから、日替りにも十分耐えうる。受けること間違いなしである。

■弁当効果

たかが弁当というなかれ。弁当づくりから生まれる効果もたくさんある。第一に、これは必ずや村の経済の活性化策のひとつになるだろう。その年々の工事規模にもよるが、確実に新消費者人口が北浦村の中に出現するからである。第二に、北浦村ならではの料理法の研究とその成果やノウハウを蓄積することができる。特徴ある弁当をつくるためには、新鮮な食材があればよいというだけではだめである。新鮮な食材は必須の条件ではある

■村づくりとしての弁当を

この弁当作戦を成功させるためには、料理の研究をちゃんとやることのほかにもうひとつあると思う。それは村の人々の、より多くの人たちがこれに参加することである。弁当だから専門の業者の方にはまかせればいいというのでは、単なる利権商売である。料理に関心のある人はだれでも、外から働きにきてくれた人々をもてなしたいと思う人はだれでも参加するのである。料理ばかりではない、弁

が、それをどれくらい加工でき、おいしくできるかが成否のかぎになる。村内では主婦の方々が集まって料理研究のサークルを開いておられるそうだが、そういう方々の協力を仰ぐのもよい。そうすれば研究のピッチも早くなるだろうし、またサークルの方々の励みにもなるかもしれない。第三には、弁当を食べてくれる人、つまり工事現場で働く人を通しての村のPR効果である。彼らは何年かしてどこかの現場へと移って行くことになる。もし北浦村の弁当の味が忘れられないものになっていたらとすれば、それは北浦村の温かな人情とともに語り継がれていくのではないだろうか。これを多少難しくいえば、北浦村の「情報戦略」である。以上三つほどのことをあげたが、予

期せぬ効果はまだまだあるかもしれない。当を盛る器にも工夫を凝らす人が必要だ。手渡し方、売り方にも北浦村の温かな心が添えられるよう工夫をする。

■複合団地を複合効果団地に

複合団地計画は北浦村の歴史はじまって以来のビッグプロジェクトだ。綿密な調査がなされ、計画が立てられて進行しているようである。単なる造成と建設の事業に終わる心配はなさそうだが、このビッグチャンスさらに効果的に活用できるよう、村の皆さんも役場と一緒に考えていかれたらどうだろうか。さまざまな複合的效果を生み出すような団地にするために。弁当なんて小さな一例である。



生涯学習

一出愛・ふれ愛・学び愛



ライフプランの描き方、立て方

井上 富雄

自分はこうありたい、自分の人生をこう生きたいと思っても自分の適性、能力、素質から考えて、『下手の横好き』の諺のように、音痴の人がいくら音楽が好きでも音楽家として成功しないように、自分自身の可能性を判断することが必要である。年齢が若い人ほど自分自身でも気が付いていない『未見の我』の部分が大きい。無限に近い将来可能性を秘めていると言つてよい。しかしある程度自分自身の限界や不得意分野、可能性や得意分野を掴んでおくことは大切である。過去の自分の体験、周囲の人達の意見などを参考にしながら、トライ・アンド・エラー

（試行錯誤）をくり返しつつ、自分の可能性の範囲を見定めていくのである。ライフプランのテーマを定める時には、仕事の目標テーマだけでなく、趣味、レジャー、レクリエーション、健康、スポーツ、財産形成、家庭、住居、コミュニティ活動、自己啓発など、人生全般の主要なものに関して目標を設定しておく。何年先までの目標かと言えば、文字通り、ライフ（生涯）すなわち死ぬ時までの目標である。もちろん誰でも、自分が何歳まで生きられるかは判らない。神のみぞ知る……であるが、何歳頃まで生きたい、生きる努力をしたいという目標をもって、ライフプランを立てるべきである。

目標テーマとその達成レベルの最終目標を設定したら、五年後、十年後、十五年後にはどこまで到達したかという中間目標を設定し、その達成のために今年、今月、今週は何をするかという実行計画と、標準時間割表を作成しておく。毎日の時間割通り、毎週、毎日の実行計画通り実行していけば、中間目標が達成され、やがては人生の最終目標が達成されるということになる。

（生涯学習フォーラム九月号より）

さわやか健康

予防接種法の改正

1 予防接種法の改正
予防接種法は種痘、BCG等の予防接種を国が市町村長等に実施させるための法律として、昭和二十三年に制定された。その後、結核の予防接種（BCG）に関する規定は結核予防法に移されたが、結核予防法における予防接種に関する規定は予防接種法に準じており、今回の予防接種法の改正と同時に結核予防法の予防接種に関する規定も改正された。

今回の改正は昭和五十一年以来の大改正であるが、そのポイントは予防接種を義務接種から勧奨接種としたことである。従来予防接種については、市町村に対して実施する義務、国民に対して受ける義務が定められていたが、国民の義務については予防接種を受けるよう努めなければならぬと緩和されることとなった。罰則規定については昭和五十一年の改正によりすでに削除されていたことから、従来も強制的な義務接種ではなく事実上の努力義務ではあったが、今回の改正により、強制ではなく努力義務であることが法文上も明記されることとなった。

2 改正の内容

(1) 予防接種法の改正関係
法律の目的に「予防接種による健康被害の迅速な救済を図る」を

3 種混合ワクチンとして実施中の破傷風を加えた。
安全な予防接種を実施するための予診規定の創設
市町村等は、予防接種を行うにあたって、被接種者について、健康状態を調べ、予防接種を受けることが適当でないと認められる場合には、予防接種を行わないものとする。

4 被接種者の責務
予防接種の対象者は予防接種を受けるよう努めなければならないものとする。

5 健康被害の救済措置の充実
国は、予防接種の健康被害者に対する保健福祉事業の推進を図る。結核予防法の改正関係
小学校就学の始期に達しない者等が受けるツベルクリン反応検査及び予防接種（BCG）に関し、予防接種法と同様の改正（1）の③、④及び⑤）を行う。

4つを削除
② 対象疾病の見直し
痘そう、ジフテリア、百日せき、急性灰白、髄炎、麻しん風しん、コレラ、インフルエンザ、日本脳炎、ワイル病

ジフテリア、百日せき、急性灰白、髄炎、麻しん、風しん、コレラ、インフルエンザ、日本脳炎、破傷風

各種検診・相談等スケジュール

事業名	月日	受付時間	場所	対象
1歳半健診	1月24日	PM1:00～1:30	母子健康センター	H5.3.15～7.24生れ
母子保健教室	25日	PM1:00～1:30	〃	妊婦
一般健康相談	27日	PM1:30～2:30	〃	一般
虫歯予防教室	31日	PM1:00～1:30	北浦村中央公民館	乳幼児のいる家庭の父母等
2種混合	2月3日	PM1:30～3:30	津澄小・要小	小学校6年生
1歳児健診	7日	PM1:00～1:30	母子健康センター	H5.12.1～3.31生れ
成分献血	8日	PM9:30～3:30	津澄第一公民館	一般
乳児健診	9日	PM1:00～1:30	母子健康センター	H6.7.1～10.31生れ
母子保健教室	10日	PM1:00～1:30	〃	妊婦
ツ反	13日	PM1:30～3:00	〃	H6.1.1～10.31生れ
2種混合	14日	PM1:30～3:00	三和小・武田小・小貫小	小学校6年生
BCG	15日	PM1:30～3:00	母子健康センター	該当者
歯科健康教育	16日	PM1:00～1:30	北浦村中央公民館	一般
育児相談	20日	PM1:30～2:30	母子健康センター	乳幼児

〔予防接種の方法〕平成7年4月1日から実施予定

対象疾病	ワクチン	※ 対象年齢	※ 接種年齢	回数	間隔	接種量	備考
ジフテリア 百日せき 破傷風	DPT	1期初回 生後3～90月 1期追加 生後3～90月 (1期初回接種3回終了後6月以上の間隔をおく)	生後6～18月 1期初回接種後12～18月	3回 1回	3～8週	各0.5ml皮下 0.5ml皮下	○第1期で接種間隔がいた場合は、すべてのやり直しはせず規定の回数を接種する。 ○2回目と3回目との間隔が8週から6か月未満ならそのまま3回目を接種し、6か月以上であれば3回目は行わず第1期追加接種を行う。 ○第1期追加接種は、18月以上経過した場合には、速やかに追加接種を行う。
	DT	2期 11～13歳未満	小学校6年	1回		0.1ml皮下	○下痢がある場合は延期する。
ポリオ		生後3～90月	生後3～18月	2回	6週以上	0.05ml経口	○ガンマグロブリン注射を受けた者は3か月（川崎病の治療等による大量療法の場合は6か月）後に行う。
麻しん		生後12～90月	生後12～24月	1回		0.5ml皮下	○幼児について行う風しんの予防接種は、麻しん接種の後に行う。 ○平成7～11年度の小学生の対象は、1年生及び2年生の一部（90月まで）
風しん		生後12～90月	生後24～36月	1回		0.5ml皮下	○中学生男女とも対象（平成7年4月1日～15年9月30日まで）
日本脳炎		1期初回 生後6～90月 1期追加 生後6～90月 (1期初回終了後概ね1年をおく)	3歳 4歳	2回 1回	1～4週	0.5ml皮下 (3歳以上) 0.25ml皮下 (3歳未満)	○第1期で接種間隔がいた場合 ①第1期初回接種1回だけで1年経過→2回接種か、1回接種し次年度1回接種 ②第1期初回接種1回だけで数年経過→2回接種し、次年度1回接種 ③第1期初回接種2回完了後2年以上経過→1回接種 ○平成7年度は実施しない。
		2期 9～13歳未満	小学校4年	1回			
		3期 14～16歳未満	中学校3年	1回			
		4歳未満のツ反陰性者 小学校1年生のツ反陰性者 小学校2年生のツ反陰性者 中学校2年生のツ反陰性者	生後3～13月 規定の年齢	ツ反判定後2週間以内各1回			○小学校2年、中学校2年は、それぞれ小学校1年、中学校1年でツ反陰性の者のみ対象とする。 ○発赤の長径9mm以下を陰性

※接種年齢—北浦村の該当者として連絡する年齢

※対象年齢—希望者は接種できる年齢

『チャレンジKITAURA』

ちょっと色黒年賀状

12月11日(日)チャレンジKITAURA（環境自然）で、北浦のアシで「和紙作り」が20名の受講生を集めて実施されました。ハガキ大の「紙すき器」で和紙をすいたが、均一にすくのが難しく、厚いのもや薄いのもで、でき上がりもやや色黒のものとなったが、初めての体験に参加者全員が喜んでいました。



▲和紙づくりにチャレンジ

教育委員会生涯学習課

チャレンジKITAURA ☎5-2907

学習予定

- 1 / 12(木) 中央公民館図書室新装オープン
- 15(日) 北浦村成人式
第37回北浦村内一周駅伝大会
- 19(木) 太極拳講座
- 22(日) チャレKITA（食品）
- 24(火) パッチワーク講座
- 26(木) 太極拳講座
- 27(金) 生け花講座
- 28(土) 北浦村上映会
「先生あした晴れるかな」
チャレKITA（科学）
- 29(日) チャレKITA（科学）
- 2 / 2(木) 太極拳講座
- 4(土) 第22回北浦村芸術祭
～12(日)
チャレKITA（環境自然）
5(日) チャレKITA（科学、食品）
スポ交流大会（サッカー）
12(日) 和太鼓とマリンバの競演
(文化会館)
第17回村内マラソン大会
14(火) パッチワーク講座
15(水) 太極拳講座

日本PTA 連絡協議会長表彰

津澄小PTA

津澄小PTAが日頃の活動の成果を認められ、日P会長表彰も受賞されました。十一月十八日東京の「ホテルニューオータニ」において表彰式がおこなわれ、十二月二十四日茨城県PTA振興大会（於県民文化センター）において伝達式が行われました。

津澄小ではPTA活動を通し、児童の健全育成を目指し、親の役割の自覚と相互の連帯感の高揚に向け、会長・執行部を中心とする推進体制のもと自主的民主的に運営されています。又、平成六年度に創立三十周年をむかえ、記念式典が行われました。今後益々の活動が期待されます。



▶羽生津澄小PTA会長

いっぱい
あつぺえ

むらの方言ベスト

いづづ

- ①『なじにした』。
訳 どうしました
- ②ペンギを『なする』。
訳 塗りつける
- ③『なめこい』豆腐だ。
訳 きめこまかい
- ④これは『なんだつぺえ』。
訳 何でしょうが
- ⑤『なんにか』買ってきた。
訳 いろいろ



読書

エッセイ

本

との出会い

砂漠の塩

(松本清張)

小貫松本正義

作者は名作が多すぎるなか、あまり話題にはならなかった作品のひとつ。ヨーロッパ観光ツアーに飛行機へ搭乗した一人の女性は途中から単独でカイロへ到着する。そこには夫の知人でもある男性が待っていた。結婚生活に飽き足りない女性の行動のはじまりであった。背信の逃避行の出発である。日本には妻も夫もいるふたりの中近東の砂漠の国々への旅立ちであった。ふだんは私たちに知らない風景が紀行文のように描写されている。そんな中、心の葛藤を深めながら追いつめられてゆく。宗教の戒律のため純愛の二人が近親者に射殺されるなどの挿話もあるにはある。近い者を裏切った男女二人を迷わせ、しかもついには砂漠の中に埋没させることを最初から構想していた辺りに作家の非情を感じた。

に(こ)に(こ)スナッ



きたうら 根本かほる選

柚子湯出て髪に一息させており
明けやらぬ空に孤を描き冬の鳥
柚子浮かべ少し太めの身を沈め
此の山はどこの山より秋深し
斧にさした遠き日お茶の花
時雨るや風の変わり目太くして
ひとつだけ妻に隠れて年忘れ
火をたきて人々の影濃くなりぬ
短日や用少しづつ残り居り
釣銭でキャラメルを買う夕野分
そばの花風とたわむる我も又
小春日や元気で又ねと葉売り
縄とびの大波小波落葉降る
せきこぼす母が気になる一葉忌
境内に小犬許され銀杏散る
万両や庭を音なく猫動く
あたたかき人の言葉や木の葉髪
寒鰯が売られて古き街通り
遠筑波ちりめんの様冬の湖
獣道落葉カラカラおにごっこ
木枯やコーヒーいつかさめて居り
冬ざるるいつも濡れてる魚市場

高松松藤久仲野和高土石日和高河川茂金寺本寺羽
野本本原保居村田野子上下田野野又木井内戸内生
三正玉静博いすみ都文ち利敬勝千くに泰さく理ま
千義江子光子あ江代江子孟子江浩子江夫子枝き

むらづくりは人づくり

ひろば

きれいで 住みよい村に

今回はゴミ集積所の掃除を長年
されている原操さんを取材してき
ました。原さんはこの度、功績が
認められ、北浦村社会福祉協議会
長顕彰を受けました。



原 操さん (山田)

〇集積所の掃除を始めたきっかけは？
地球環境の悪化とか、オゾン層破壊とか耳にしますが、将来に向かって大変な事だと思いました。でも、大きなことはできませんから、小さいことから何か役に立つことはと考え、近くに集積所ができたところから掃除しています。〇きれいな集積所だと、ゴミを出す人もきれいに使うのでは？
以前は、収集日以外の日にもゴミを出す人が多く、また、缶やびんと燃える物を一緒に仕分けしないで出す人も多かったのです。生ゴミなど、犬や猫が食い散らかしたりして集積所も汚れていました。しかし、掃除をしながら、近所の方へルールを守ろうと、声をかけ合い、今では前日にゴミを出す人はいなくなりました。燃えるゴミと燃えないゴミの種分けもきちんとできるようになってきました。今では、掃除もらくですよ。〇ゴミのリサイクルは何か実践していますか？
牛乳パックは、捨てないでリサイクルしています。某ストアーでは五十枚持つていくとトイレットペーパーと交換してくれるんですよ。

〇ボランティアの功績が認められ村社会福祉協議会長顕彰を頂いたそうですが？
表彰されたくてボランティアをしているわけではありません。皆さんももっと環境問題に目を向けて、小さなことから実践していけば、きれいな住みよい郷土づくりができるのではないのでしょうか。皆さんの中にも集積所の掃除やゴミ拾いなど実践されている方がいると思います。取材に伺いますのでお知らせください。

村社会福祉大会

—豊かな長寿社会を—

第二十二回北浦村社会福祉大会が十一月二十五日に中央公民館で行われました。大会では、高見澤たか子先生(現代社会の諸問題などを説く評論家)を招いて、『ボランティア活動は人との触れ合いを通して等身大の自分を見る鏡』と題して講演をいただきました。その後、社会福祉協議会顕彰や老人クラブ連合会長顕彰が行われたあと、七月九日に行われた子供の主張コンクールに入選された六名の小学生(平間弘隆くん外五名)による発表がありました。顕彰者は次のとおりです。	
■社会福祉協議会長顕彰(表彰状)	
原 操さん(山田)	大野 とよさん(若葉クラブ)
(感謝状)	大原 しづさん()
大久保 正さん(吉川)	大場不二夫さん(永寿会)
玉造ロータリークラブ	大場 フジさん()
北浦村商工会婦人部	日下 トラさん()
■老人クラブ連合会長顕彰(感謝状)	齋藤 ゑみさん(松寿会)
和田 春雄さん(成寿会)	高野 まつさん()
横田 ナヲさん(天寿会)	松下 たみさん(南高岡長寿会)
横田 やすさん()	森下 四郎さん()
横田 せつさん()	金田 きみさん()
石間 サヨさん(繁昌クラブ)	中村 士郎さん()
幸助さん()	中村富美子さん()
高柳 てつさん(鶴亀クラブ)	大原はるみさん()
いねさん()	柏原 きみさん()
辺田 貞義さん()	松下キン子さん()
溝口 顕さん(西白寿会)	沼里 さきさん()
溝口 イチさん()	石橋 あいさん()
	金田 弘蔵さん()
	後谷 きよさん()
	額賀 あいさん(両宿長寿会)
	飛弾 テツさん()
	菅谷 千代さん()
	菅内 さださん()
	菅野 シツさん()
	六笠 シゲさん()
	高橋 正代さん()
	鈴木 するさん()
	成田 千代さん(成寿会)
	縣 正一さん(寿会)
	縣 ハルさん()
	高柳 すいさん()
	五十野方子さん(千歳会)
	松本 マサさん(親寿会)
	松本 テルさん()

昔から伝わる 年中行事

村、集落、地域集団で古くから習慣となっている民族行事の主なもの毎月紹介します。

1月の行事

正月行事は年中行事の中でもっとも重要な行事です。正月は年があらたまるのにさいし、各家々では歳神の降臨を乞うてこれを祭り、一年間の無病息災と、本年の五穀豊穡を祈るものであります。

7日 七草粥

「七日正月」と呼んでいる。朝食に七草粥を炊きます。春の七草(セリ、ナズナ、スズナ、スズシロ、ホトケノザ、ゴキウウ、ハコベ)を炊き込んだ粥を食すれば、年中病氣しないといわれます。しかし七草粥に使う野菜はこれにこだわらないように、人参、大根、里芋、油菜、牛蒡、韭(にら)などを入れた餅粥を炊き青物の食べ初めとされています。

14日 なる木餅

「なるき餅」又は「ならせ餅」。新年初めて餅つき、榎の木の新芽に、丸いもの、四角いものや、いろいろな形の餅をつけ、豊作を祈ります。

14日 鳥追

男子、こども等は数日前より篠葉柄と竹でトリオイ(ワーホイ)小屋を作り、中に藁を敷き、炬をこしらえ、餅を焼いたり、雑煮をつくり食する。夜は小屋に火をつけて難を焼き払う。

農業センサス調査にご協力を

農林水産省では、平成7年2月1日現在で農業センサスを実施します。この調査は、全国の農家などの農業を営む事業体のはか、農作業を請け負う事業体のすべてを対象として行う大規模な調査です。

■調査のねらい

この調査は、我が国農業の生産・就業等に関する基本構造の実態と変化を明らかにするとともに、土地、労働力、資本の資源総量を捉えるために実施します。

■調査の対象

- 農家調査 すべての農家が対象となります。
- 農業事業体調査 協業経営体や会社等、農家以外の農業事業体が対象となります。
- 農業サービス事業体調査 農業事業体以外で、農作業を請け負っている農業生産組織や会社等が対象となります。
- ※農家調査については、調査員が農家の皆様を訪問し、経営耕地面積、農産物販売金額を聞き取り、調査の対象となるかどうか確認した上で、農家に対して、聞き取りにより調査を行います。ご協力をお願いいたします。

ドイツ連邦共和国連合行政体ヴィルゲス

第4次派遣団員募集

北浦国際交流協会及び村では、今年も北浦村と友好関係にあるドイツ連邦共和国連合行政体ヴィルゲスへの研修と交流を目的とした派遣団員を募集します。

- 応募人数 7名
- 応募資格 北浦村に在住若しくは勤務する20歳以上の者（学生は除く）
- 日程 平成7年2月19日(日)～2月25日(土)若しくは平成7年2月26日(日)～3月4日(土)の7日間
- 参加経費 自己負担10万円程度。その他は北浦国際交流協会が補助します。
- 応募方法 希望者は平成7年1月31日(火)までに、北浦村役場企画課に備え付けの応募用紙に、研修希望内容等を記載し申し込んでください。
- その他 詳しくは北浦村役場企画課（☎5-2111 内線 256）まで。

北浦村上映会

『先生あした晴れるかな』

いま子供たちにとって何が一番大切なのか、大人たちに何ができるのかを暗示する映画。

- 日時 平成7年1月28日(土)
- 開場 午後1時30分
- 開演 午後2時～

- 会場 北浦村文化会館
- 入場料 無料
- 主催 北浦村PTA連絡協議会・北浦村青少年問題協議会・北浦村高校生親の会・北浦村子供会育成連絡協議会

成人特例選抜生徒募集

銚田一高 定時制

県立高校の定時制には、成人特例選抜という制度が設けられております。これは、色々な事情で成人に達するまで高校の教育を受けられなかった方々のために、働きながら学ぶことができ、4年間で高校卒業の資格を取ることができる制度です。

- 応募資格 平成7年4月1日現在、満20歳以上の者
- 願書提出期間 平成7年2月6日(月)～2月8日(水)
- 作文・面接日 平成7年3月8日
- ※ 詳しい問い合わせは茨城県立銚田第一高等学校（☎311-15 銚田町銚田1090-2 ☎3-2161）まで。

葉たばこ作り仲間募集

◆葉たばこ耕作の現況

- 葉たばこは手間のかかる作物とのイメージがありましたが、現在では省力栽培が普及して大変楽になりました。（10アール当たり労働時間は昭和58年で320時間、現在は170時間）
- 葉たばこは周年作物から季節作物に変身しました。選別作業がなくなったので、例えば3ヘクタール耕作していても収穫乾燥が終わる9月上旬には荷造りまで全て完了し、作業の切りが良く好評です。多くの農家は、サツマイモ、セリ等と組み合わせた複合経営を行っています。
- かつてのような強制減反がなく、自由に好きな面積を耕作出来る時代になりました。

◆葉たばこ耕作の有利性

- 好況・不況・豊作貧乏の影響がなく、仲間との競争もなく、努力の結果が収益に直結する極めて安定性の高い作物です。
- 色々な援助制度が完備しています。
 - ①種子の無料配付 ②農業機械への助成金 ③掛け金なしの災害援助金制度 ④前払制度 ⑤初心者でも出来る栽培援助等

◆問い合わせ先

- たばこ耕作組合麻生支所（☎0299-72-0113）
- J T 銚田原料事務所（☎3-6311）

年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資に還元融資の一環として、厚生年金保険・国民年金に十年以上加入している方が、入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。また、この貸付は、国民金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

- 融資金額 学生・生徒一人につき100万円以内
- 返済期間 8年以内（措置期間は在学期間内で最長4年）
- 利率 年4.9%（平成6年12月1日現在）
- ※ 詳しくは(社) 茨城県年金住宅福祉協会（☎0292-25-2946）まで。